エコアクション21

株式会社柏原測量

２０２４年度　環境経営レポート

（対象期間：２０２４年　１月　１日～２０２４年１２月３１日）

発行日：　2025年 2月26日

エコアクション21
認証番号0008068

ご あ い さ つ

当社は地球環境保全の重要性を認識し、測量を主とする事業活動において環境に配慮した継続的な環境活動を行なってきました。社員の環境意識が生活の一部に浸透してきています。社員ひとりひとりができる行動は小さいですが、積み重ねる事によって、子どもたちや次の世代に豊かな未来を継いでいくことをこれからも目指します。

Ⅰ.環 境 経 営 方 針

当社は、測量を主とする事業活動において、地球環境問題が世界共通のキーワードであると認識を持ち、環境負荷の低減を図るために、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。また、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。

1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。

2．二酸化炭素排出量の削減を推進する。（電気、ガソリン）

3．廃棄物の削減及び再生利用を推進する。

4．水道使用量の削減を推進する。

5．測量時等の環境配慮を推進する。

6．人材育成を推進する。

制定日： 2011年8月31日
改訂日： 2025年5月13日

代表取締役社長　上田 正行

Ⅱ.組織の概要

（１） 名称及び代表者名
株式会社　柏原測量
代表取締役　上田　正行

（２） 所在地
本　　社　　〒669-3301　兵庫県丹波市柏原町南多田681番地1

（３） 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者　　代表取締役　上田　正行
担当者　　婦木　翔太　　TEL:0795-72-0514
FAX:0795-72-2036
E-mail:kaibaras@trust.ocn.ne.jp

（４） 事業内容
調査（井戸調査、地籍調査、交通量調査、橋梁点検等）・測量・設計（護岸工等）・GIS事業

（５） 事業の規模

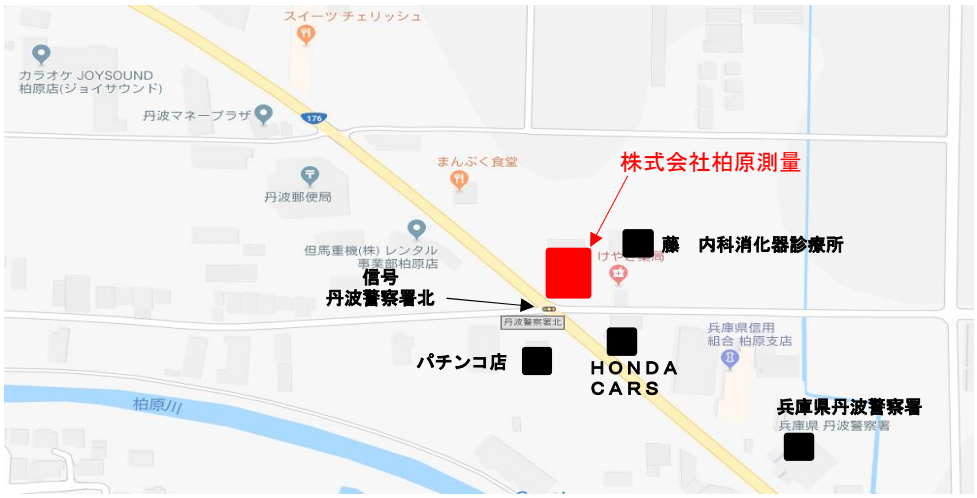
	単位	2022年度	2023年度	2024年度
従業員	人	8	7	7
延べ床面積	㎡	432	432	432

（６） 事業年度　　1月～12月

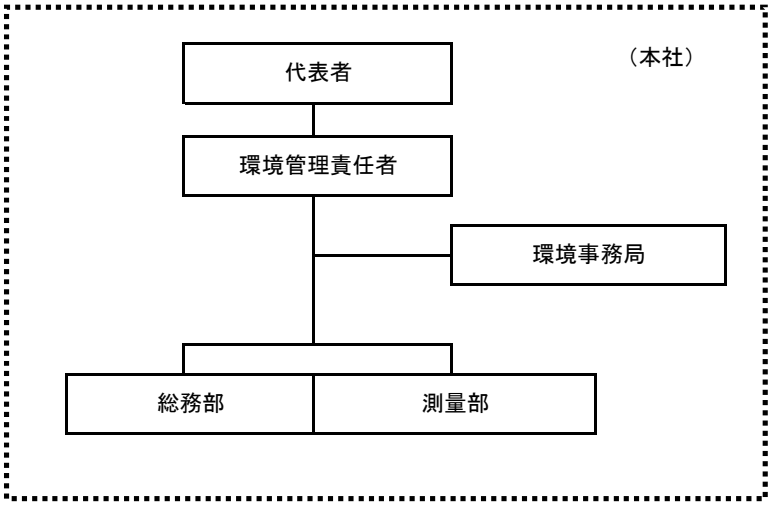
Ⅲ.認証・登録の対象範囲

登録組織名：　株式会社　柏原測量
〒669-3301　兵庫県丹波市柏原町南多田681番地1
関連事業所：　本社
対象外：　なし
活動：　調査（井戸調査、地籍調査、交通量調査、橋梁点検等）
測量、設計（護岸工等）、GIS事業

Ⅳ.アクセス



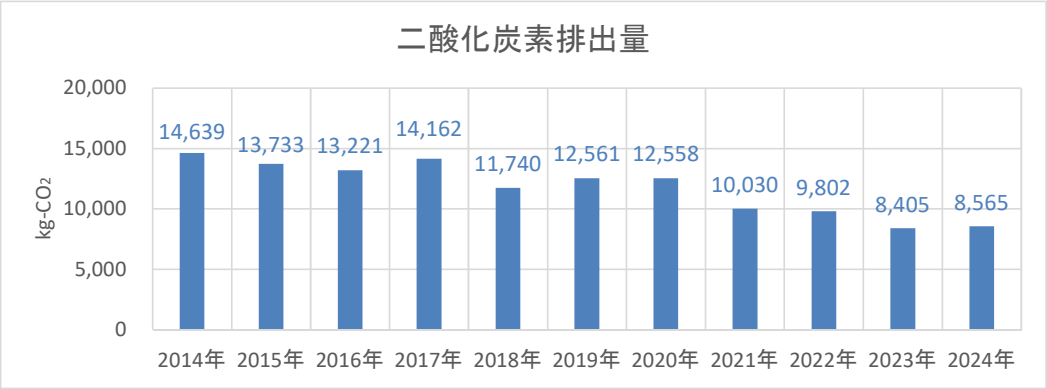
Ⅴ.株式会社柏原測量 実施体制図及び役割・責任・権限表

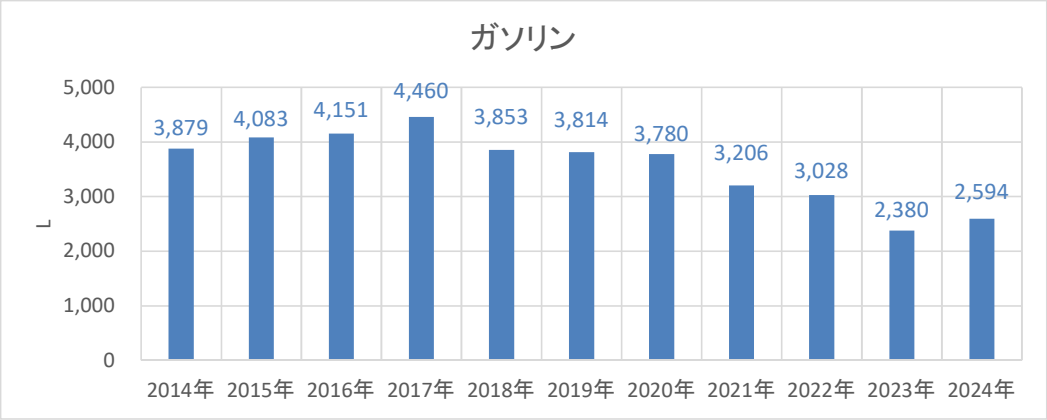


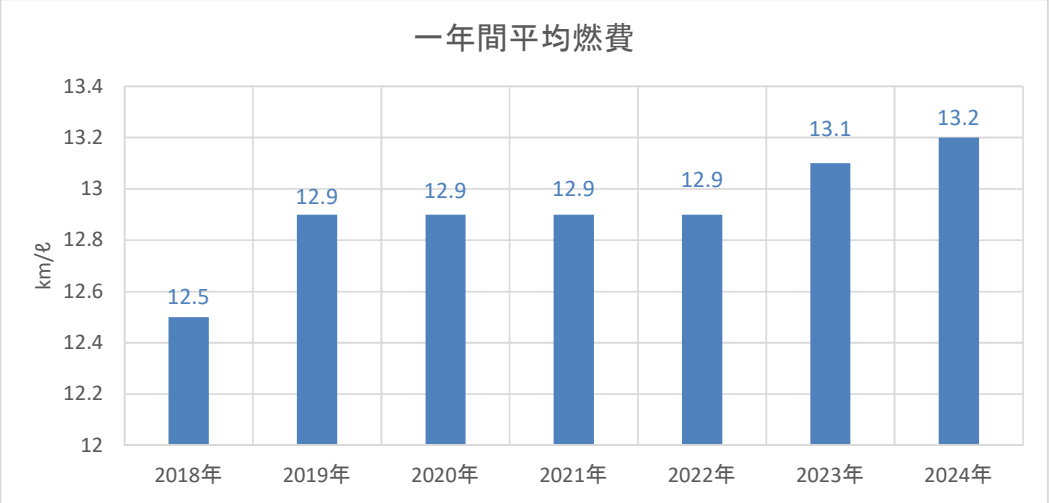
	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・全従業員に各自の役割・責任・権限を周知 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付） ・全社における環境経営システムの実施 ・全社における環境経営方針の周知 ・全社の従業員に対する教育訓練の実施 ・全社に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・全社の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

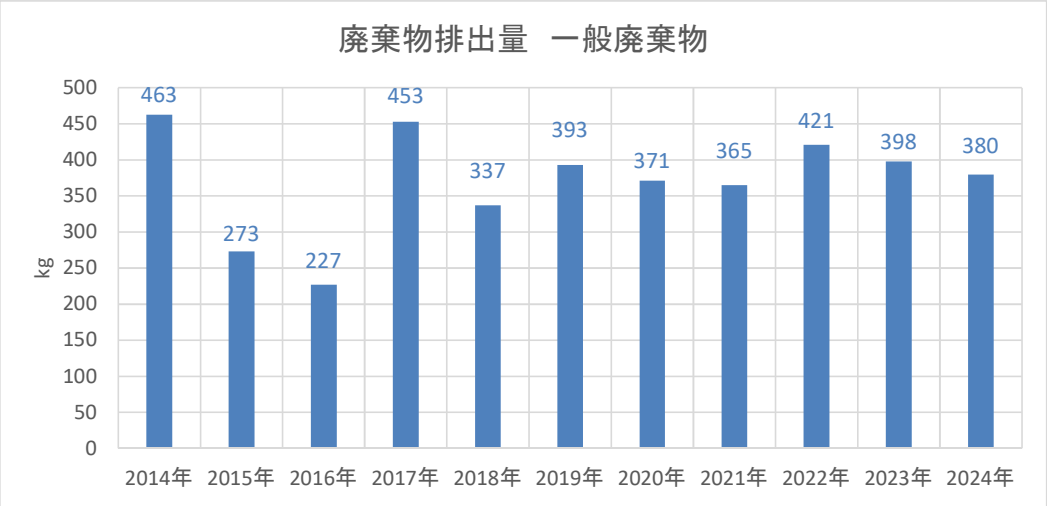
Ⅵ.主な環境負荷の実績

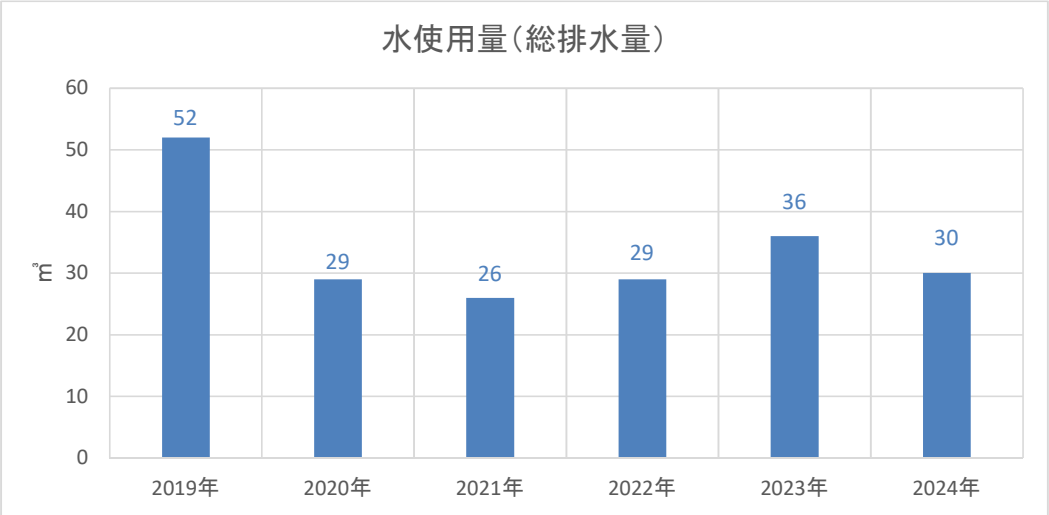
項　目	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	9,802	8,405	8,568
電力	kWh	8,912	9,260	8,181
ガソリン	L	3,028	2,380	2,594
（一年間平均燃費）	km/ℓ	12.9	13.1	13.2
廃棄物排出量	kg	421	398	380
一般廃棄物	kg	421	398	380
産業廃棄物	kg	0	0	0
水使用量	m^3	29	36	31
化学物質	kg	0	0	0






一年間平均燃費
km/ℓ
13.4
13.2
13
12.8
12.6
12.4
12.2
12
12.5
12.9
12.9
12.9
12.9
13.1
13.2
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年


廃棄物排出量　一般廃棄物
kg
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
463
273
227
453
337
393
371
365
421
398
380
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年


水使用量（総排水量）
㎥
60
50
40
30
20
10
0
52
29
26
29
36
30
2019年
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年

Ⅶ.環境経営目標及びその実績

（１）中長期目標

項　目 ＼ 年　度		2022年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度
Ⅰ．二酸化炭素 排出量合計	kg-CO_2	9,802	9,704	9,606	9,508
	対基準		△1%	△2%	△3%
電力使用量削減	kWh	8,912	8,823	8,734	8,645
	kg-CO_2	2,772	2,744	2,717	2,689
	対基準		△1%	△2%	△3%
ガソリン 使用量削減	ℓ	3,028	2,998	2,967	2,937
	kg-CO_2	7,031	6,961	6,890	6,820
	対基準		△1%	△2%	△3%
燃費の向上	km/ℓ	12.9	13.0	13.1	13.2
	対基準		+0.1	+0.2	+0.3
Ⅱ．廃棄物排出量 ・一般廃棄物	kg	421	417	413	408
	対基準		△1%	△2%	△3%
Ⅲ．水使用量 削減	m^3	取組実施	取組実施	取組実施	取組実施
	対基準				
Ⅳ.測量時等の環境配慮					
(1) デジタル化・ PDF化の提案	%	100	100	100	100
	対基準		±0	±0	±0
(2) セキュリティー体制の構築 ・「置き忘れ、ﾃﾞｰﾀﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ漏れ、整理整頓漏れ」０件の達成			整理整頓漏れ	置き忘れ漏れ	ﾃﾞｰﾀﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ漏れ
			0件	0件	0件
Ⅴ.課題とチャンス					
(1) 人材育成の推進		取組実施	取組実施	取組実施	取組実施
(2) 情報収集と円滑なコミニュケーションの推進		取組実施	取組実施	取組実施	取組実施

注1）　電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力（株）の2021年度実績（調整後排出係数）の0．311kg-CO2/kWhを使用。

注2）　ガソリン使用量削減の基準値は2022年度の1年間平均燃費とする。

注3）　基準年度を2022年度に変更した。

注4）　化学物質は業務上、使用が無い為、目標に設定しない。

注5）　水使用量の削減は減らす余地がない為、目標設定しない。節水活動は続ける。

（２）2024年度の実績

項　目 ＼ 年　度		2022年度	2024年度実績（2024年1月～12月）			
		基準年度	目標	実績	達成度	評価
Ⅰ．二酸化炭素排出量合計	kg-CO_2	9,802	9,704	8,568	113%	○
	対基準		△1%	△12.5%		
電力使用量削減	kWh	8,912	8,823	8,181	107%	○
	kg-CO_2	2,772	2,744	2,544		
	対基準		△1%	△8.2%		
ガソリン使用量削減	ℓ	3,028	2,998	2,594	115%	○
	kg-CO_2	7,031	6,961	6,023		
	対基準		△1%	△14.3%		
燃費の向上	km/ℓ	12.9	13.0	13.2	101%	○
	対基準		+0.1	+0.3		
Ⅱ．廃棄物排出量・一般廃棄物	kg	421	417	380	109%	○
	対基準		△1%	△9.7%		
Ⅲ．水使用量削減	㎥	取組実施	取組実施	取組実施		○
	対基準					
Ⅳ.測量時等の環境配慮						
（1）デジタル化・PDF化の提案	%	100	100	100	100%	○
	比率	10/10	10/10	6/6		
	対基準		±0	±0		
（2）セキュリティー体制の構築	件	0件	整理整頓	0件	100%	○
	対基準		0件			
Ⅴ.課題とチャンス						
（1）人材育成の推進		取組実施	取組実施	取組実施	取組実施	○
（2）情報収集と円滑なコミュニケーションの推進		取組実施	取組実施	取組実施	取組実施	○

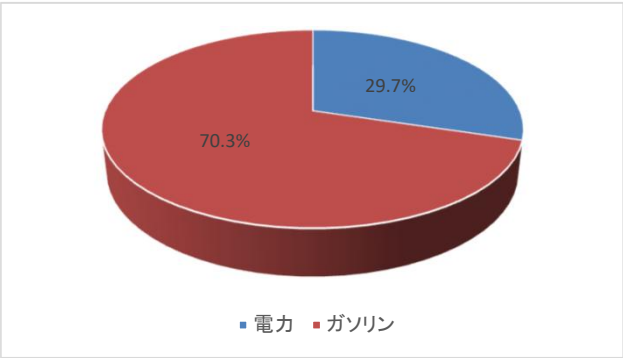
注1）評価欄にて、　○：達成（１００％以上）
△：やや未達成（９０％以上～１００％未満）
×：未達成（９０％未満）

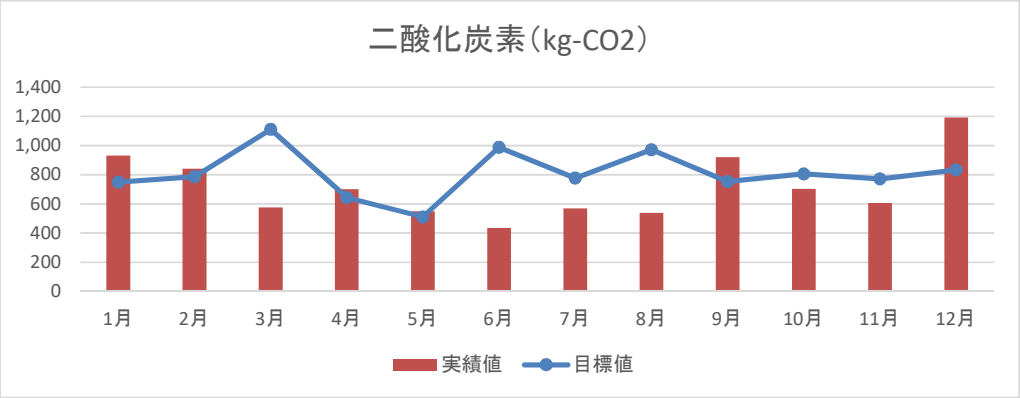
注2）基準年度を2022年度に変更した。

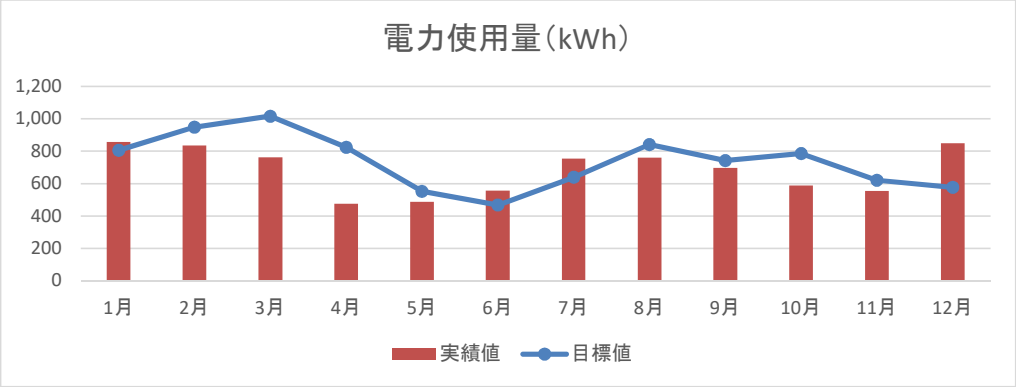
注3）達成度の算定式　目標値･･･（基準値-目標値）÷基準値×100
実績値･･･（実績値-基準値）÷基準値×100
達成度･･･目標値÷実績値×100
達成度（燃費）･･･実績値÷目標値×100

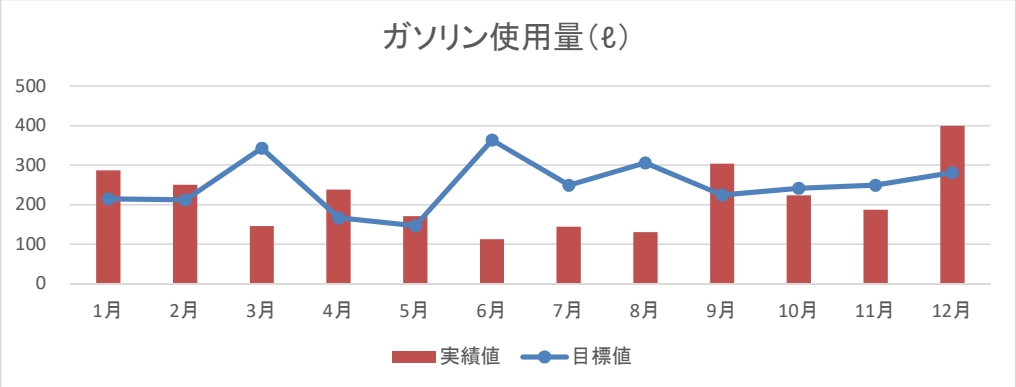
目標未達成項目の推定原因
・今年度は目標達成できた。
※受注する業務によって内業が多い業務や、外業が多い業務がある。

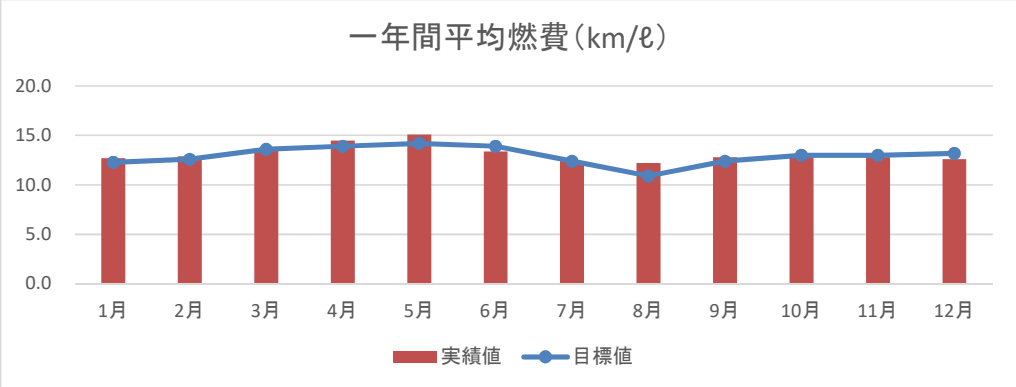
二酸化炭素排出量の内訳（%）

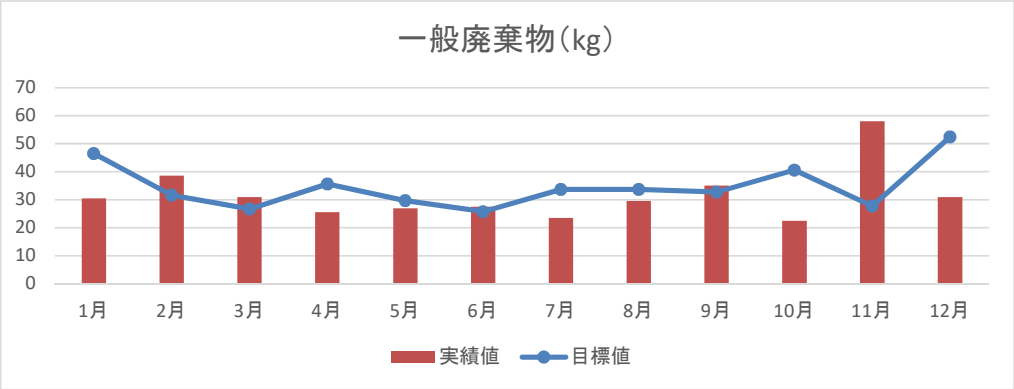


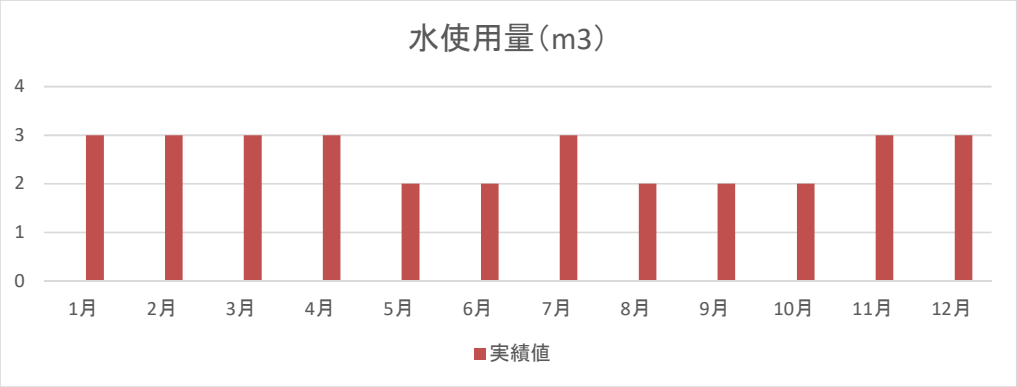

二酸化炭素（kg-CO2）
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
実績値
目標値


電力使用量（kWh）
1,200
1,000
800
600
400
200
0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
実績値
目標値


ガソリン使用量（ℓ）
500
400
300
200
100
0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
実績値
目標値


一年間平均燃費（km/ℓ）
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
実績値
目標値





Ⅷ.環境経営活動の取り組み計画とその評価及び次年度の環境経営計画

◎よくできた　○まずまずできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	今年度の評価と今後の取り組み計画
二酸化炭素排出量削減		（目標達成）
・総量での評価	○	今後も一層積極的な取り組みを実施する。
電力使用量の削減		（目標達成）
・エアコンの温度管理 （冷房28℃暖房20℃）	○	概ね出来ていた。クールビズの取り組みを徹底する。
・照明管理 （未使用箇所の消灯）	○	消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減		（総量・燃費とも目標達成）
・アイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・適正な車両の整備	○	もっと意識をし整備を心掛ける。
・移動コースの効率化	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
一般廃棄物の削減		（目標達成）
・分別によるリサイクルの推進	○	概ね出来ていた。
・裏紙の使用	△	図面印刷が増えた為、あまりできなかった。両面印刷を徹底する。
・ミスコピーの防止	○	概ね出来ていた。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
水道水使用量の削減		（目標達成）
・節水意識の向上	○	より徹底をはかる。
・貼紙等の掲示	○	簡単な貼紙等を掲示した結果、意識が向上した。
		目標設定はしないが、積極的な取り組みを実施する。
測量時等の環境配慮		（目標達成）
・発注者にデジタル化・PDF化の提案	○	普段から意識しデジタル化の提案をする。
・セキュリティー体制の構築	○	データバックアップ漏れ『0』を実施し、出来ていた。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
課題とチャンス		（目標達成）
・人材育成の推進	○	情報収集と円滑なコミニュケーションの推進
・情報収集と円滑なコミニュケーションの推進	○	多方面からの情報収集と円滑なコミュニケーションの推進
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。

Ⅸ.環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的遵守義務のある主な環境関連法規制は次の通りである。　　遵守評価日：2025年2月17日

適用される法規制	適用される要求事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正な分別・保管・処理	遵守
消防法・施行規則	消火器の設置と点検　記録の保管	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録の保管	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等また、関係当局より違反等の指摘も過去３年間ありませんでした。

Ⅹ.代表者による全体の評価と見直し･指示

・電力使用量の削減、ガソリン使用量の削減、一般廃棄物の削減、測量時等の環境配慮は目標を達成しました。また、弊社における二酸化炭素排出量に占めるガソリンの割合は約7割であります。ガソリン使用量削減及び燃費向上についても目標達成をしており、良い結果だと思います。

この結果を受け止め、少しでも目標値に近づけるよう努力をしていきたいです。全体としては、15年目になり環境に対する意識が高まりましたが、従業員の環境意識が生活の一部に浸透してきているので、今後も積極的な活動をしていきます。

事業活動に大きな変化がないため、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制については変更しない。

2025年2月26日　代表取締役　上田　正行

XI.環境活動の紹介

＜ゴミの分別＞

＜ゴミの分別箱設置＞

＜エコアクション掲示板＞

＜エコアクション掲示板＞

＜コピー用紙削減呼び掛け＞

＜清掃活動＞

＜消火訓練＞